

3 学習利用情報

(1) 総合的な学習の時間での利用

1) 利用に向けて

科学館を総合的な学習の時間で利用しようとするとき、次のような学習の目的と学習の方法が考えられます。

【学習の目的】

- (ア)「調べ方」を学習する。
- (イ)「地域」を学習する。
地域にある文化施設として科学館を調べる。
千葉県の県民の生活や産業を調べる。
- (ウ)人間生活と科学技術とのかかわりについて調べる。
- (エ)エネルギー問題を社会や科学技術などの面から総合的に学習する。
- (オ)環境破壊の現状と保全のための取り組みについて、自分たちの生活・社会の問題・科学技術とのかかわりなどの面から総合的に学習する。

【学習の方法】

- (ア)展示をもとにした学習
- (イ)図書室の利用(40名収容 科学・技術・教育・博物館関連の蔵書1万冊)
- (ウ)科学情報コーナーの利用(12名まで利用可能 同時に6本の映像資料を上映可能)
- (エ)職員への質問
- (オ)ワークシートの利用

ワークシート(P8～P21)は設問によって児童・生徒を資料に導き、簡単な作業を通して展示のねらいに合った見学を促すための資料です。テスト形式の設問ではなく、児童・生徒に自分なりの考えを記入させるような構成になっています。また、見学に重点を置いてもらうため、記入する部分は少なめにしています。

ワークシートは小学校高学年から中学生までが対象です。ただし、内容は展示資料に即していますので、それぞれの学年の学習内容に応じて使用してください。

(見学のねらいに合ったテーマを選び、各学校でご利用ください。)

【打ち合わせ・確認事項】

科学館利用の申し込みに際しては、次のような点について打ち合わせと確認をさせていただきます。

学校名
指導者氏名
連絡先
学年
人数
来館希望日
当日の日程
学習の目的
学習内容と方法
活動形態(個人・グループ・クラス・学年等)
館職員の支援の必要の有無、及び学習場所